

生成A I の活用

人材育成上の課題・目標

- ・生成A I の仕組みを知りたい
- ・生成A I の導入事例を知りたい
- ・生成A I のメリット、デメリットを知りたい
- ・生成A I の活用方法がわからない



課題解決・目標達成を目指して

- ・生成A I の仕組みを理解する
- ・生成A I の導入事例を知る
- ・人間の創造的な作業をサポート・代替することを理解する
- ・テキスト、画像、音声、動画、コードなどを生成する能力を理解する

コースのねらい

生成A I の概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、A I と協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。

カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ 生成A I の概要	・生成A I とは ・大規模言語モデル等 ・守るべき倫理・安全性・透明性・責任等
	■ 生成A I の活用事例と今後の展望	・生成A I の活用事例紹介 ・生成A I 導入の課題 ・多様な業務への応用と規制
	演習（例）	・メール返信文書の自動作成 ・議事録の自動作成 ・提案書、プレゼン資料の自動作成
	応用・実践要素（例）	・自社における生成A I の活用の検討 ・生成A I 活用における課題・分析 ・多様な業務への応用事例

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

中堅層、管理者層

関連コース

- A バックオフィス
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
 - ・A I（人工知能）活用
 - ・クラウド活用入門
 - ・クラウドを活用したシステム導入
 - ・クラウドを活用した情報共有能力の拡充
 - ・I o T活用によるビジネス展開
 - ・I o T導入に係る情報セキュリティ
 - ・I T新技術による業務改善
- B 組織マネジメント
- ・I o Tを活用したビジネスモデル
- ほか

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。